

## 正味財産増減計算書総括表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	7,921,513	10,013		7,931,526
② 特定資産運用益	817,297	36		817,333
③ 事業収益	2,517,009,160	617,910,102		3,134,919,262
④ 受取補助金等	1,473,931	378,230,343	△ 30,568,785	349,135,489
⑤ 雑収益	1,565,315	20,211		1,585,526
⑥ 他会計からの繰入金	30,568,785		△ 30,568,785	0
経常収益計	2,559,356,001	996,170,705	△ 61,137,570	3,494,389,136
(2) 経常費用				
① 事業費	2,343,438,570	930,520,489	△ 30,568,785	3,243,390,274
② 管理費	200,232,939	61,991,984		262,224,923
③ 他会計への繰出額	30,568,785		△ 30,568,785	0
経常費用計	2,574,240,294	992,512,473	△ 61,137,570	3,505,615,197
当期経常増減額	△ 14,884,293	3,658,232	0	△ 11,226,061
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益		1,099		1,099
② 引当金戻入益	50,625,979			50,625,979
経常外収益計	50,625,979	1,099	0	50,627,078
(2) 経常外費用				
① 固定資産除却損	9			9
経常外費用計	9	0	0	9
当期経常外増減額	50,625,970	1,099	0	50,627,069
当期一般正味財産増減額	35,741,677	3,659,331	0	39,401,008
一般正味財産期首残高	7,771,959,382	838,149,404		8,610,108,786
一般正味財産期末残高	7,807,701,059	841,808,735	0	8,649,509,794
II 指定正味財産増減の部				
① 一般正味財産への振替額	△ 1,473,931	0	0	△ 1,473,931
当期指定正味財産増減額	△ 1,473,931	0	0	△ 1,473,931
指定正味財産期首残高	521,747,248	1,000,000,000	0	1,521,747,248
指定正味財産期末残高	520,273,317	1,000,000,000	0	1,520,273,317
III 正味財産期末残高	8,327,974,376	1,841,808,735	0	10,169,783,111

# 一般会計 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[ 7,921,513 ]	[ 7,929,897 ]	[ △ 8,384 ]
② 特定資産運用益	[ 817,297 ]	[ 833,852 ]	[ △ 16,555 ]
③ 事業収益	[ 2,517,009,160 ]	[ 2,752,563,315 ]	[ △ 235,554,155 ]
労働安定基金収益	2,460,002,521	2,713,971,994	△ 253,969,473
技能研修受講料収益	57,006,639	38,591,321	18,415,318
④ 受取補助金等	[ 1,473,931 ]	[ 1,473,931 ]	[ 0 ]
受取補助金等	1,473,931	1,473,931	0
⑤ 雑収益	[ 1,565,315 ]	[ 195,848,413 ]	[ △ 194,283,098 ]
受取利息	9,838	9,521	317
雑収益	1,555,477	195,838,892	△ 194,283,415
⑥ 他会計からの繰入金	[ 30,568,785 ]	[ 14,469,747 ]	[ 16,099,038 ]
特別会計事業収益	30,568,785	14,469,747	16,099,038
経常収益計	2,559,356,001	2,973,119,155	△ 413,763,154
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 2,343,438,570 ]	[ 2,278,572,909 ]	[ 64,865,661 ]
港湾労働者年金助成金	1,228,815,000	1,280,840,000	△ 52,025,000
職業訓練助成金	44,185,799	28,632,786	15,553,013
技能研修運営費	988,793,827	877,864,743	110,929,084
計算等事務委託費	76,410,353	85,761,619	△ 9,351,266
送金手数料	5,233,591	5,473,761	△ 240,170
② 管理費	[ 200,232,939 ]	[ 372,599,598 ]	[ △ 172,366,659 ]
役員等報酬	20,905,323	20,914,398	△ 9,075
給料手当	87,700,836	87,100,830	600,006
賞与引当金繰入額	10,556,339	8,952,338	1,604,001
退職給付費用	8,066,700	11,777,000	△ 3,710,300
福利厚生費	16,234,951	15,768,437	466,514
会議費	230,281	2,753,232	△ 2,522,951
旅費交通費	2,074,687	4,380,941	△ 2,306,254
通信運搬費	897,518	810,288	87,230
減価償却費	10,023,617	176,628,406	△ 166,604,789
調査広報費	217,554	1,894,013	△ 1,676,459
図書費	273,301	293,234	△ 19,933
消耗品費	625,737	732,251	△ 106,514
保守費	1,780,764	1,745,669	35,095
印刷製本費	118,910	344,014	△ 225,104
光熱水料費	780,361	959,434	△ 179,073
賃借料	21,893,814	22,893,836	△ 1,000,022
保険料	31,235	28,530	2,705
手数料	12,809,819	7,207,140	5,602,679
租税公課	1,282,672	1,543,013	△ 260,341
港湾労働者年金等給付引当資産評価損	1,389,200	3,259,600	△ 1,870,400
支払利息	1,044,325	2,264,752	△ 1,220,427
雑費	1,294,995	348,242	946,753
③ 他会計への繰出額	[ 30,568,785 ]	[ 14,469,747 ]	[ 16,099,038 ]
特別会計事業費	30,568,785	14,469,747	16,099,038
経常費用計	2,574,240,294	2,665,642,254	△ 91,401,960
当期経常増減額	△ 14,884,293	307,476,901	△ 322,361,194
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	[ 0 ]	[ 5,609,998 ]	[ △ 5,609,998 ]
車両運搬具売却益	0	5,609,998	△ 5,609,998
② 引当金戻入益	[ 50,625,979 ]	[ 73,317,651 ]	[ △ 22,691,672 ]
港湾労働者年金等給付引当金戻入益	50,625,979	73,317,651	△ 22,691,672
経常外収益計	50,625,979	78,927,649	△ 28,301,670
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	[ 9 ]	[ 391,817 ]	[ △ 391,808 ]
什器備品除却損	3	391,817	△ 391,817
電話加入権除却損	6	0	9
経常外費用計	9	391,817	△ 391,808
当期経常外増減額	50,625,970	78,535,832	△ 27,909,862
当期一般正味財産増減額	35,741,677	386,012,733	△ 350,271,056
一般正味財産期首残高	7,771,959,382	7,385,946,649	386,012,733
一般正味財産期末残高	7,807,701,059	7,771,959,382	35,741,677
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
① 一般正味財産への振替額	[ △ 1,473,931 ]	[ △ 1,473,931 ]	[ 0 ]
一般正味財産への振替額	△ 1,473,931	△ 1,473,931	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,473,931	△ 1,473,931	0
指定正味財産期首残高	521,747,248	523,221,179	△ 1,473,931
指定正味財産期末残高	520,273,317	521,747,248	△ 1,473,931
<b>III 正味財産期末残高</b>	8,327,974,376	8,293,706,630	34,267,746

## 一般会計財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法  
 満期保有目的の債券…………… 個別法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。
- その他の有価証券  
 時価のあるもの…………… 決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は個別法により算定）によっている。  
 時価のないもの…………… 個別法による原価法によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法  
 減価償却資産…………… 定額法によっている。
- (3)引当金の計上基準  
 賞与引当金…………… 役員及び職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額のうち、当期負担すべき額を計上している。  
 退職給付引当金…………… 役員及び職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。  
 港湾労働者年金等給付引当金… 経済動向の変化等に伴い生じる不測の事態に備え、港湾労働者年金の支給原資の不足額に充当するため、計上している。  
 港湾労働者年金の給付に備え、当事業年度末における年金給付債務の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しております。
- (4)消費税等の会計処理  
 消費税等…………… 税込み方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
普通預金	2,519,376		916,116	1,603,260
投資有価証券	497,480,624	916,116		498,396,740
小 計	500,000,000	916,116	916,116	500,000,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	86,824,600	15,124,300	5,775,900	96,173,000
研修センター減価償却引当資産	200,000,000	200,000,000		400,000,000
港湾労働者年金等給付引当資産	2,250,000,000		51,000,000	2,199,000,000
小 計	2,536,824,600	215,124,300	56,775,900	2,695,173,000
合 計	3,036,824,600	216,040,416	57,692,016	3,195,173,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
<b>基本財産</b>				
普通預金	1,603,260	(1,603,260)		
投資有価証券	498,396,740	(498,396,740)		
小 計	500,000,000	(500,000,000)		
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	96,173,000			(96,173,000)
研修センター減価償却引当資産	400,000,000		(400,000,000)	
港湾労働者年金等給付引当資産	2,199,000,000			(2,199,000,000)
小 計	2,695,173,000		(400,000,000)	(2,295,173,000)
合 計	3,195,173,000	(500,000,000)	(400,000,000)	(2,295,173,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。  
(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建築物	4,278,847,356	1,131,941,265	3,146,906,091
構築物	2,165,056,441	589,997,725	1,575,058,716
車両運搬具	457,310,060	333,039,143	124,270,917
機械装置	2,287,437,884	1,026,172,794	1,261,265,090
什器備品	196,315,287	101,889,151	94,426,136
リース資産	11,176,704	8,226,036	2,950,668
ソフトウェア	65,630,892	30,099,940	35,530,952
合計	9,461,774,624	3,221,366,054	6,240,408,570

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。  
(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	261,482,250	0	261,482,250
合計	261,482,250	0	261,482,250

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。  
(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債	498,396,740	513,150,000	14,753,260
合計	498,396,740	513,150,000	14,753,260

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 職業能力開発校 設備整備費等補助金	厚生労働省	21,747,248	0	1,473,931	20,273,317	指定正味財産
合計		21,747,248	0	1,473,931	20,273,317	

8 関連当事者との取引内容

該当なし

9 重要な後発事象

港湾技能研修センター(豊橋)は、令和2年6月30日を以て閉鎖し、令和3年度中に固定資産の除却損が計上される予定である。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	21,242,349	19,946,679	21,242,349		19,946,679
退職給付引当金	86,824,600	15,124,300	5,775,900		96,173,000
港湾労働者年金等給付引当金	2,250,373,291			50,625,979	2,199,747,312

特別会計正味財産増減計算書総括表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	事業主支援等業務	雇用安定事業関係業務	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[ 10,013 ]	[ 0 ]	[ 10,013 ]
②特定資産運用益	[ 36 ]	[ 0 ]	[ 36 ]
③事業収益	[ 617,910,102 ]	[ 0 ]	[ 617,910,102 ]
港湾労働法関係付加金収益	617,910,102	0	617,910,102
④受取補助金等	[ 150,068,240 ]	[ 228,162,103 ]	[ 378,230,343 ]
受取交付金	0	228,162,103	228,162,103
受取国庫委託費	119,499,455	0	119,499,455
委託事業に係る収益	30,568,785	0	30,568,785
⑤雑収益	[ 9,381 ]	[ 10,830 ]	[ 20,211 ]
受取利息	9,381	0	9,381
雑収益	0	10,830	10,830
経常収益計	767,997,772	228,172,933	996,170,705
(2) 経常費用			
①事業費	[ 747,591,988 ]	[ 182,928,501 ]	[ 930,520,489 ]
研修会等費	0	2,017,092	2,017,092
派遣事業費	0	180,911,409	180,911,409
事業主支援業務費	580,000,000	0	580,000,000
国庫委託費	119,499,455	0	119,499,455
委託事業に係る費用	30,568,785	0	30,568,785
その他の業務費	17,523,748	0	17,523,748
②管理費	[ 19,252,445 ]	[ 42,739,539 ]	[ 61,991,984 ]
給料手当	2,112,900	17,925,253	20,038,153
賞与引当金繰入額	0	1,829,334	1,829,334
退職給付費用	0	467,800	467,800
福利厚生費	940,376	3,112,622	4,052,998
会議費	1,013,412	0	1,013,412
旅費交通費	1,695	351,320	353,015
通信運搬費	132,169	851,952	984,121
減価償却費	1,826,809	2,630,284	4,457,093
調査広報費	1,776,733	0	1,776,733
消耗品費	1,389,135	735,842	2,124,977
保守費	1,800	978,749	980,549
印刷製本費	79,810	222,145	301,955
光熱水料費	0	384,341	384,341
賃借料	3,350,532	11,104,690	14,455,222
保険料	0	11,335	11,335
手数料	44,280	1,986,930	2,031,210
租税公課	5,481,055	88,750	5,569,805
雑費	1,101,739	58,192	1,159,931
経常費用計	766,844,433	225,668,040	992,512,473
当期経常増減額	1,153,339	2,504,893	3,658,232
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①固定資産売却益	[ 0 ]	[ 1,099 ]	[ 1,099 ]
車両運搬具売却益	0	1,099	1,099
経常外収益計	0	1,099	1,099
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,099	1,099
当期一般正味財産増減額	1,153,339	2,505,992	3,659,331
一般正味財産期首残高	800,665,905	37,483,499	838,149,404
一般正味財産期末残高	801,819,244	39,989,491	841,808,735
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	0	1,000,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000,000	0	1,000,000,000
III 正味財産期末残高	1,801,819,244	39,989,491	1,841,808,735

## 特別会計財務諸表に対する注記

(特別会計)

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 …… 個別法による原価法を採用している。但し、債権金額と異なる価額で取得した債権で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産 …… 定額法によっている。  
リース資産 …… 所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額の当期負担すべき額を計上している。  
退職給付引当金 …… 職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等 …… 税込み方式によっている。

### 2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	700,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	700,000,000
定期預金	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
合計	1,700,000,000	2,000,000,000	2,000,000,000	1,700,000,000

### 3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
普通預金	700,000,000		(700,000,000)
定期預金	1,000,000,000	(1,000,000,000)	
合計	1,700,000,000	1,000,000,000	700,000,000

### 4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	33,135,100	4,617,500	0	37,752,600
減価償却引当資産	360,469	360,469	360,469	360,469
合計	33,495,569	4,977,969	360,469	38,113,069

### 5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	37,752,600			(37,752,600)
減価償却引当資産	360,469		(360,469)	
合計	38,113,069		360,469	37,752,600

### 6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,472,576	1,695,429	777,147
車両運搬具	14,893,708	8,576,081	6,317,627
什器備品	1,402,770	1,030,786	371,984
リース資産	124,283,520	103,419,582	20,863,938
ソフトウェア	30,543,879	14,891,697	15,652,182
合計	173,596,453	129,613,575	43,982,878

- 7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。  
 (単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	90,764,726	0	90,764,726
合計	90,764,726	0	90,764,726

- 8 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金等						
交付金	厚生労働省	0	228,162,103	228,162,103	0	
国庫委託費	厚生労働省	0	119,499,455	119,499,455	0	
合計		0	347,661,558	347,661,558	0	一般正味財産

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2「基本財産の増減額及びその残高」及び注記4「特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	9,791,339	11,617,506	9,791,339		11,617,506
退職給付引当金	33,135,100	37,752,600	33,135,100		37,752,600
合計	42,926,439	49,370,106	42,926,439		49,370,106